

# ハネール



寒さが厳しくなり、もう本格的に冬が始まります。

終業式、冬休み、クリスマス、年越し。

イベントはたくさんありますが、そんなときにこそほっと一息。

今年は何かお気に入りの本を見つけられましたか？



## ミス・ペレグリンと奇妙な子どもたち

ランサム・リグズ作 金原瑞人・大谷真弓訳

主人公・ジェイコブのよき理解者である祖父がある日凄惨な死を遂げる。ジェイコブは祖父の遺言に従いウェールズの小さな島を訪れると、そこには特殊な能力を持つ子供たちとミス・ペレグリンがいた。

様々な場面で伏線が散りばめられており、上下巻合わせるとかなりの読み応えがあってオススメです。

推薦者 3年栗林



## アリス殺し 小林泰三

大学生の栗栖川亜理は毎晩自分が不思議の国の住人になる夢をみていました。ある日、夢の中で住人の1人、ハンプティダンプティが塀から突き落とされて殺され、亜理が犯人だと疑われてしまいます。

すると、大学でも王子という博士研究員が屋上から落ちて死ぬ事件が発生。2つの事件の関連を不思議に思っていた時、大学で同じ夢を見る青年、井森に出会い、亜理の誤解を晴らすため、2人は犯人探しに奮闘します。

この話はファンタジー要素だけではなく、ミステリー要素も加わっていて、謎解きも楽しめます。

推薦者 1年工藤



## 人を10分ひきつける話す力 齋藤孝

「話す力を持っている人には、知識、相手の気持ちを読み取る感情、伝えようとする意思、声の調子やジェスチャーなどの「知情意体」が備わっている」

このような話す力の説明や話し方、文構成の工夫など人前で話す上で大切なことが詰まっています。

著名人のスピーチや、齋藤先生が主催する塾「齋藤メゾット」での成果など、具体例を多数取り上げることで内容が分かりやすく、確信が持てます。

高校生にオススメしたい1冊です！

推薦者 1年大谷



## 君は月夜に光り輝く 佐野徹夜

高校1年生の岡田卓也は姉を亡くしてからどこかなげやりに生きていた。ある日先生の提案で「発光病」という治ることの無い病気にかかっているクラスメイトの渡良瀬まみずのお見舞いに行くことになり、そのことがきっかけで、卓也はまみずが死ぬまでにやりたいことを代わりに達成していくことになった…。この本は「生と死」について考えられる1冊です。

推薦者 2年本多